

Junack

40 ヴェルファイア 40 アルファードワークランプ取付け要領書

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本書はレディストワークランプの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。本要領書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備書等をご確認の上車両に適した手順で作業を行って下さい。また、本書はなくさないよう大切に保管して下さい。

取付けご担当様へお願い

本書記載の内容・注意事項をよく読み正しくお使い下さい。本書に記載されていない取付け方法は行わないで下さい。また、内容・注意事項をお客様にご確認いただいた上で作業を行うようにして下さい。

お客様へお願い

本書とご購入時の販売証明書(品名や品番が記載されたレシートや領収書)は大切に保管しておいて下さい。販売証明書の提示がない場合は、保証修理・交換ができません。

安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

 **警告**、 **注意**、 **注記**、 **アドバイス**のところは、とくにしっかりお読み下さい。

警告

取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です

注記

取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。

注意

取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。

アドバイス

この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適合車種および適用年式

アルファード / ヴェルファイア 年式 2023年5月～

型式 AGH4#W/AAHH4#W/TAHA40W 型

推奨準備工具



取付準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの(-)側コードを外して下さい。また(-)側コードは(+)側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付要領書通りになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておくと、後の調整がスムーズに行えます。

取扱い方法

本製品に付いた汚れは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、水拭きにて仕上げして下さい。長時間放置すると、汚れが取れにくくなったり、樹脂部品の劣化の原因になります。本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となります。

注記

- ・ワークランプ取付け位置については、弊社で取付け確認した位置となります。
- ・車両によってキーレスエントリー等のアンサーバック時、ルームランプと同様に点灯しますが異常ではありません。
- ・本製品はLEDのため、消灯時に車両によっては残照機能により、点滅することがありますが異常ではありません。

ワークランプ配策イメージ

構成部品

	NO.	部品名称	数量
①	①	中間ハーネス A(1,000mm)	1
②	②	中間ハーネス B(750mm)	1
③	③	ワークランプ灯体	2
④	④	電源取出し用ハーネス	1
⑤	⑤	アンカーボルトセット	2
⑥	⑥	フラットワイヤプロテクタ	3
⑦	⑦	面ファスナー	1
⑧	⑧	化粧シール	2
⑨	⑨	製品保証書	1

ワークランプ配策イメージ



フラットワイヤプロテクタ

ワークランプ取付位置

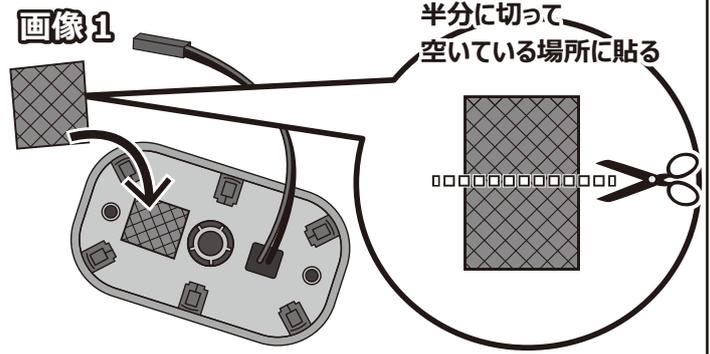
ワークランプ取付け手順

①面ファスナー・フラットワイヤプロテクタをカット

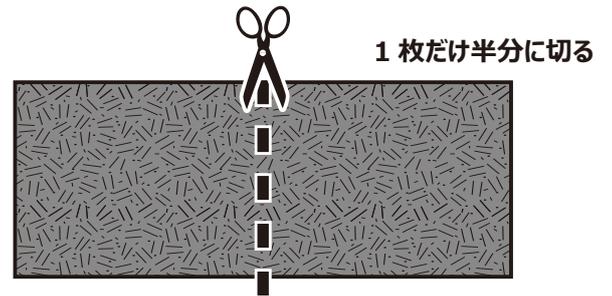
画像 1 を参考に、付属の面ファスナーを半分に切り、半分に切った面ファスナーを、灯体本体の空いている場所に貼ります。

フラットワイヤプロテクタを 1 枚を半分に切ります。

画像 1



画像 1-2



②灯体レンズを外す

灯体本体の裏側、画像 1-3 の  印部分を、画像 1-4 のようにマイナスドライバー等で押し込むとレンズが外れます。

画像 1-3



画像 1-4



③ ネットフックの取外し

画像3 ○印部分の運転席側のネットフックを取外します。
車両整備書に従い、画像3-2～3-4を参考に
(+)ドライバーを使用して正しく外して下さい。



④デッキフックを固定しているネジの取外し

車両整備書に従い正しい手順で、画像4  印部分のカバーを外し、画像4-2～4-4を参考にデッキフックを固定しているボルトを外して下さい。

画像 4



画像 4-2



画像 4-3



画像 4-4



⑤内貼りのモール接地面を養生テープで保護する

画像5を参考に、モールが内貼りに接している部分を養生テープで保護します。
その際、画像5を参考に、養生テープが内貼りに密着しないように貼り付けて下さい。

画像5-2を参考にセンター部分のみ養生テープを内貼りに軽く貼付け、画像と同じように更にもう1枚貼り付け、モール部分にマスキングテープを貼ります。

注 記

養生テープを貼る際は粘着面を内貼りに強く押し付けられないようできるだけ浮かせたり、粘着力を落としてから貼るなど、内貼りに強く密着しすぎないようにして下さい。
剥がす際に内貼りを傷める原因になります。

画像 5



画像 5-2



⑥配線逃がし加工のためのマーキング

画像 6 〇印、バックドアの左右のヒンジ部から中間点を出し、マーキングを行います。

画像 6-2、運転席側のヒンジ点線部分から垂直位置にある養生テープにマーキングをして下さい。

画像 6-3、助手席側のヒンジ点線部分から垂直位置にある養生テープにマーキングをして下さい。

画像 6-4 を参考に、
中間点が出たら
車体横幅に対して垂直に線（中間線）を引いて下さい。

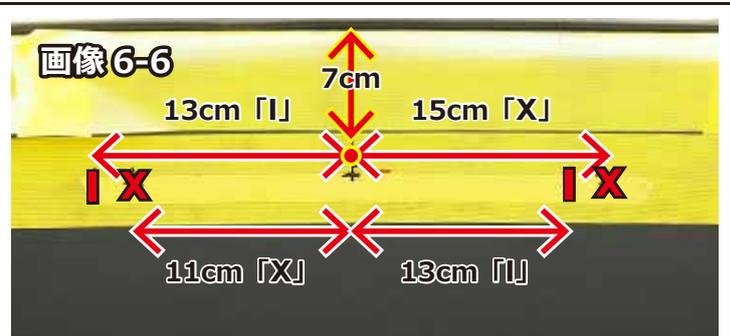
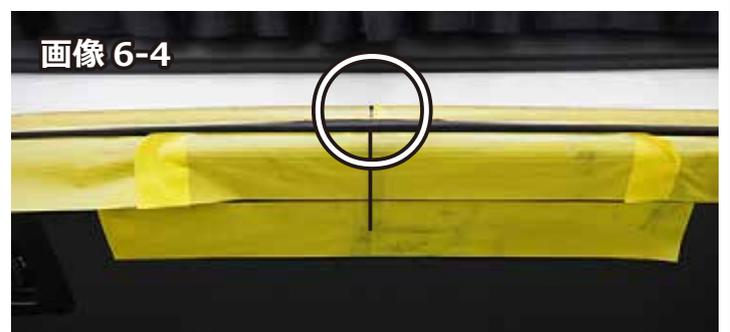
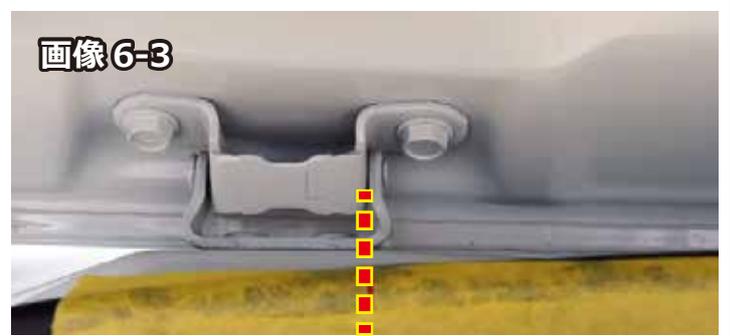
画像 6-5 を参考に、
中間線から 7cm にマーキングをします。

画像 6-6 を参考にまず運転席側のマーキングをします。

中間線から運転席側へ
13cm の箇所に「I」印
15cm の箇所に「X」印をつけます。
この印はスリットを入れるガイドになりますので
2cm ほどの長さで印をつけて下さい

次に助手席側のマーキングをします。

中間線から助手席側へ
11cm の箇所に「X」印
13cm の箇所に「I」印をつけます。
同じく 2cm ほどの長さで印をつけて下さい



⑦マーキング箇所にスリットを入れる

画像 7 を参考に、運転席側の「I」「X」のラインに沿ってスリットを入れます。スリットの長さは 2cm 程で切って下さい。助手席側も同じようにスリットを入れます。

注 記

カッターの刃は入れすぎないように、表面を少しづつ切るようにして下さい。内貼り内部に配線等がある場合、配線を傷つける恐れがあります。十分に注意して下さい。

画像 7



⑧モールを外し、内貼りを浮かせる

モールを外していきます。

外したモールがシート等を汚す可能性があるため、画像 8 を参考に、シート部分をビニール等で覆い、保護して下さい。

画像 8-2 〇印部分までモールを外します。

画像 8-3 を参考に運転席側後方ネットフックとデッキフック周辺の内貼りを浮かせます。

画像 8-4 を参考に本書 6P 画像 6、センター位置周辺の内貼りを浮かせます。

画像 8-5 を参考に、画像 8-4 の助手席側、サードシートのシートベルトユニット周辺の内貼りを浮かせます。

注 記

内貼りを浮かせる際は、過度な負荷をかけると内貼りに折れ跡がつく場合があります。負荷をかけすぎないように注意して下さい。

画像 8



画像 8-2



画像 8-3



画像 8-4



画像 8-5



⑨ 灯体本体のコネクタをスリットに差し込む

画像 9 を参考に、本書 7P 画像 7 で入れたスリット部分の養生テープを剥がし、「×」スリットに灯体本体側コネクタを差し込みます。

反対側も同じように「×」スリットに灯体本体側コネクタを差し込みます。(画像 9-2)



⑩ 灯体本体に中間ハーネスを接続

画像 10 を参考に灯体本体に中間ハーネスを接続します。

助手席側には中間ハーネス A(長)を
運転席側には中間ハーネス B(短)を
接続して下さい。



⑪ 運転席側ラゲッジランプユニットを外す

車両整備書に従って運転席側のラゲッジランプユニットを外します。(画像 11)

車両側電源コネクタを抜いて下さい。(画像 11-2)



⑫ランプユニットに電源取出し用ハーネスを接続

画像 12 を参考に、車両側電源ハーネスをランプユニット位置から内貼り内部を通して画像 12-2 のように外側に出します。

画像 12-3 を参考に
車両側電源ハーネスと電源取出し用ハーネスを接続します。

👉 アドバイス

画像 12-4 〇印のコネクタを車両側電源ハーネスに接続する



画像 12-5 を参考に画像 12 と逆の手順で車両側電源ハーネスと接続した電源取出し用ハーネスをランプユニット位置に戻します。(画像 12-6)

ランプユニットに電源取出し用ハーネスを接続します。

注記

嵌合不足のないように注意して作業して下さい。

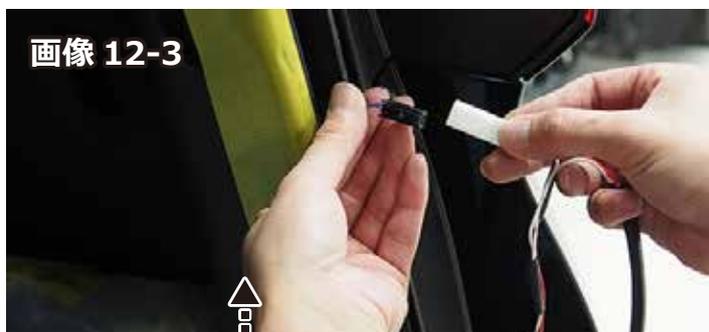
画像 12



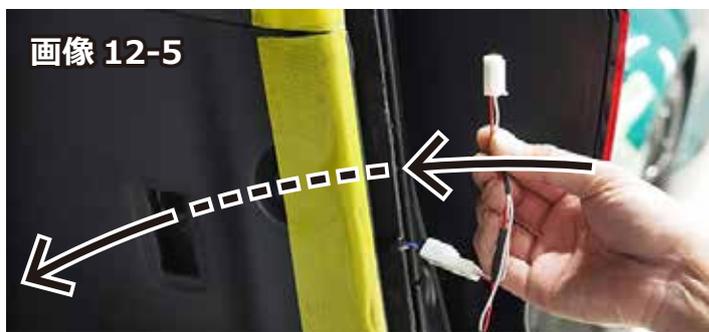
画像 12-2



画像 12-3



画像 12-5



画像 12-6



画像 12-7



⑬アース線の配策

画像 13 を参考に、○ 印部分にあるボルトにアース線を接続します。

画像 13-2・13-3 を参考にしっかり接続して下さい。

注記

画像 13-4 のようにクワガタ端子の差込みが浅いまボルトを締めると外れの原因になります。しっかりとクワガタ端子を差し込んで下さい。

画像 13-4



画像 13



画像 13-2



画像 13-3



⑭灯体本体の中間ハーネスに電源取出し用ハーネスを接続する

画像 14・14-2 を参考に灯体本体に接続された中間ハーネスと電源取出し用ハーネスを接続します。

注記

嵌合不足のないように注意して作業して下さい。

画像 14



画像 14-2



⑮点灯確認

点灯確認を行います。



画像 15

⑯灯体本体を固定する

画像 16 ㊦印を参考に、灯体本体配線をしっかりと内貼り内部に引き込みます。



画像 16

本書P7手順7で入れた「I」スリット

この時、本書 P7 手順 7 で入れた「I」のスリットが灯体本体中心と重なるように位置合わせを行って下さい。



画像 16-2

先端同士が密着するように左右からつまむ

灯体本体を内貼りに固定します。

画像 16-2 を参考に、アンカーの両端をつまみ、
画像 16-3 を参考にアンカーを差し込みます。



画像 16-3

画像 16-4 を参考に「I」のスリットと灯体本体穴位置が
ずれないようにアンカーボルトを差し込みます。



画像 16-4

⚠ 注意

クリップ固定の際に、
基板ユニットには触れないようにして下さい。
破損の原因になります。



画像 16-5



画像 16-5 を参考にしっかりと内貼り内部にアンカーを
差して下さい。



画像 16-6

アンカー用のネジで固定します。(画像 16-6)

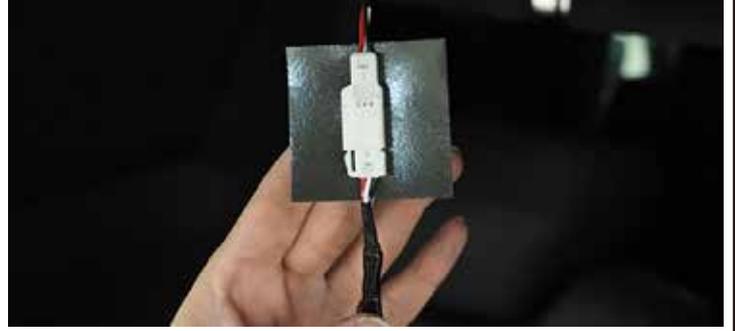
⑰ 灯体本体と中間ハーネスコネクタ接続部の保護

灯体本体と中間ハーネスのコネクタ接続部に

画像 17・17-2 を参考に半分にカットしたフラットワイヤプロテクタを
しっかり巻きつけて固定して下さい。

反対側も同手順で固定します。

画像 17



画像 17-2



画像 18



画像 18-2



⑱ ハーネスの配策とコネクタ接続部の保護

画像 18 の配策ルート参考に、

灯体本体に接続された中間ハーネスを内貼りの中に
収めます。

画像 18-2 ㊦印の中間ハーネスと電源取出し用ハーネスの
コネクタ接続部を、画像 18-3 を参考にフラットワイヤプロテクタ
しっかり巻きつけ、保護して下さい。

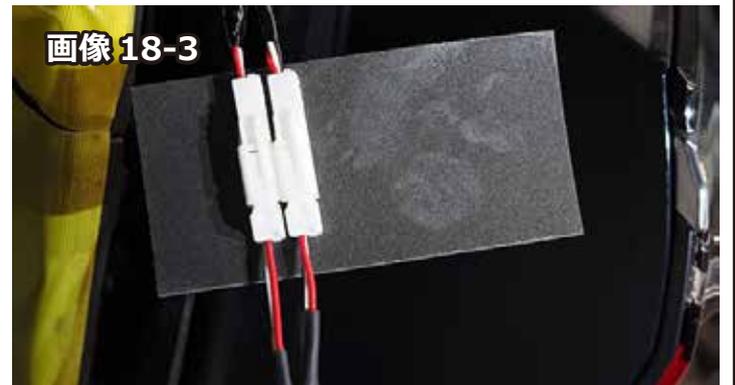
👉 アドバイス

フラットワイヤプロテクタはしっかりと巻きつけ、圧着して下さい

画像 18-4



画像 18-3



⑱電源取出し用ハーネスの余長分をまとめる

画像 19 の電源取出し用ハーネスの BOX とハーネスの余長分をまとめます。

画像 19-2・19-3 を参考にフラットワイヤプロテクタでまとめ、しっかりと圧着して下さい。

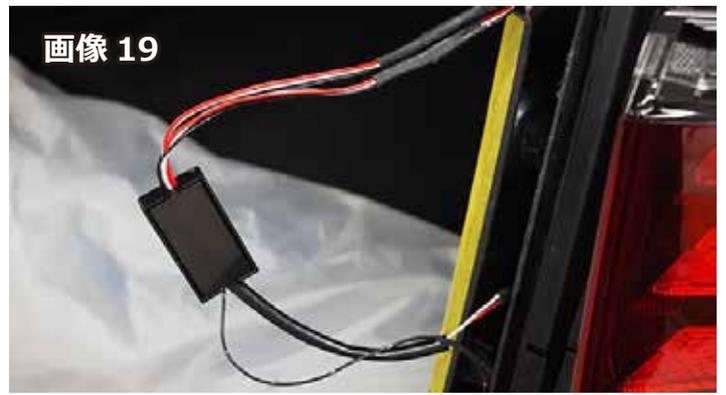
👉 アドバイス

フラットワイヤプロテクタはしっかりと巻きつけ、圧着して下さい

画像 19-3



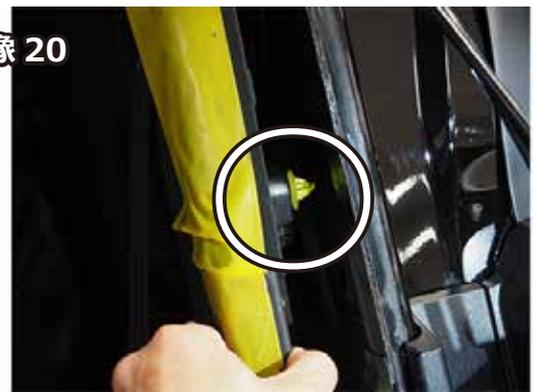
画像 19



画像 19-2



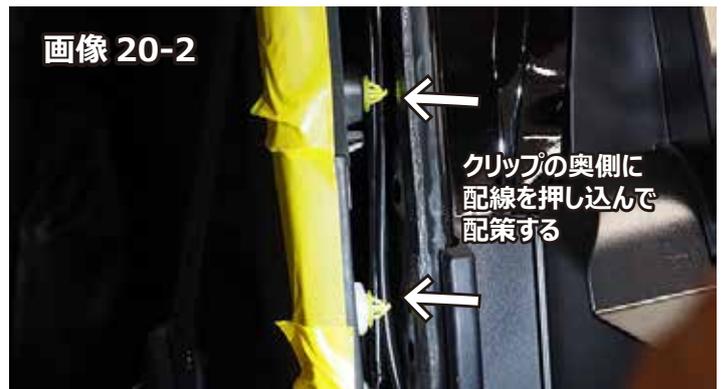
画像 20



画像 20 のように内貼り内部には内貼りと車体を固定するクリップがあります。

このクリップの奥側に配線が通るように、押し込みながら配策して下さい。

画像 20-2



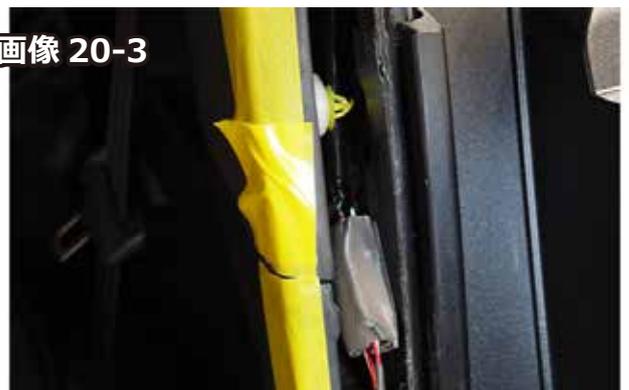
画像 20-2・20-3 を参考に配策して下さい。

内貼りを戻したときにふくらみが出ないよう、配線やまとめた電源取出しハーネスを適切なスペースに収めて下さい。

注記

配線が噛み込まないように十分注意して収めて下さい。

画像 20-3



②動作チェックをする

画像 21 の図を参考に動作確認を行って下さい。
また、車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認します。
ワークランプはルームランプに連動し点消灯します。
また、レンズを軽く押すと点灯 / 消灯できます。

画像 21

ルームランプ	ワークランプ
点灯	点灯 / 消灯
ドア連動	点灯 / 消灯 (ルームランプ点灯時のみ)
消灯	点灯 / 消灯

②レンズを装着

2カ所の灯体本体にレンズを装着します。画像 22 を参考に、ハウジングの切り欠きを合わせて押し込み、固定して下さい。

画像 22



アドバイス

この時、付属の化粧シールを貼り付けて下さい。
(画像 22-2)
文字の向きは画像 22-2 を参考にして下さい。



②外した部品を戻し、動作チェックをする

取外した車両部品をすべて復元します。
灯体本体の点灯および動作チェックをして下さい。
また、車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認します。

画像 23



注記

復元の際、ハーネス等の噛み込みに十分注意して下さい。